

**学校法人富山国際学園
富山短期大学
機関別評価結果**

平成 20 年 3 月 19 日

財団法人短期大学基準協会

富山短期大学の概要

| | |
|-------|------------------|
| 設置者 | 学校法人 富山国際学園 |
| 理事長名 | 金岡 祐一 |
| 学長名 | 金岡 祐一 |
| A L O | 武藤 憲夫 |
| 開設年月日 | 昭和38年4月1日 |
| 所在地 | 富山県富山市願海寺水口444番地 |

設置学科および入学定員(募集停止を除く)

| 学科 | 専攻 | 入学定員 |
|--------|----|------|
| 経営情報学科 | | 90 |
| 福祉学科 | | 80 |
| 食物栄養学科 | | 80 |
| 幼児教育学科 | | 80 |
| | 合計 | 330 |

専攻科および入学定員(募集停止を除く)

| 専攻科 | 専攻 | 入学定員 |
|-----|--------|------|
| 専攻科 | 食物栄養専攻 | 15 |
| | 合計 | 15 |

通信教育および入学定員(募集停止を除く)

なし

機関別評価結果

富山短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていることから、平成20年3月19日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成18年7月7日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現および教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次の通りである。

当該短期大学は、明確な建学の精神・教育理念を有し、この理念の下に具体的な教育目標を学科ごとに掲げ、時代の進展や社会的ニーズに対応しながら地域に密着し貢献する短期大学として大きな地位を確立している。

教育課程は、教育目的や教育目標に基づいて編成され、短期大学の専門教育や教養教育として十分な内容を有している。また、学生が意欲を持って履修するための工夫がされ、学生の多様なニーズに応えるように編成されており、教育の実施体制に配慮がされている。学生支援については、入学前教育、学習支援、学生生活指導、進路支援などが多面的に行われ、確実に成果を上げており、社会のニーズに応える実践的な教育の成果を支えている。

教育の実施体制は、適切に整備され機能しており、教員組織は、各学科ともに短期大学設置基準以上で構成され、教育支援者としての助手や補助職員などの人材も配置されている。校地面積や校舎面積は、短期大学設置基準を充たし、授業用の機器・備品なども充たされている。また、図書館は、ハード・ソフト両面で整備され、図書館活動が活発である。

教育目標の達成度と教育の効果は、単位の認定状況、学生の満足度、退学・休学・留年などの状況、免許状や各種資格の取得状況などからみても各授業が効果的に実施され、教育目標の達成のために十分な効果をあげている。また、卒業生のほとんどが、専門性をいかして県内の各界に就職して活躍しており、卒業生に対するケアは各学科の教員によって行われている。

入学に関する支援体制は、入試・広報センターとして組織化され整備されており、多様な選抜方法で適切な入学試験が実施されている。入学者や在学生に対するオリエンテーションも充実しており、学力不足や進度の速い学生に対する配慮もしている。学生生活支援は、学級担任と職員とが一体となって就学指導・支援や生活指導・支援をしており、その体制が整備され実績をあげている。進路支援については、学生部就職指導課と学級担任が中心となって行い、就職だけでなく編入学も含めて好成績をあげている。

多くの教員は、研究成果を何らかの形で公表しており、外部資金は、科学研究費補助金や地方自治体および財団法人などから獲得し、一定の成果をあげている。また、研究のための研究室、機器・備品・図書などや研究日についても配慮されている。

生涯学習センターを中心にして地方自治体などと連携しながら、全学、学科、教員個人などによって、各種講座やリカレント教育などの社会的活動を積極的に行っている。

理事長が学長を兼務しており、寄附行為の規定に基づいて、理事と評議員および監事が選任され、理事会や評議員会などが適切に開催されている。また、監事は、寄附行為の規定に基づいて適切に業務を行っている。教授会などの短期大学の運営体制は確立され、各種規程に基づいて適切に運営されており、事務組織についても、諸規程が整備され、それに基づいて適切に管理・運営されている。人事管理については、各種規程が整備されており、その運営管理も適切に行われている。また、教職員は、緊密な連携が保たれて学生指導や管理運営にあたっている。さらに、教職員の就業などに関する管理も、適切に運用されている。

中・長期の財務計画は策定していないが、毎年度の事業計画とそれに応じた財務運営は、その管理や手続きを含めて、ほぼ適切に行われている。また、必要な施設設備は、セキュリティ対策や省エネ・省資源対策を含めて、諸規程に基づいて適切に維持管理されている。

自己点検・評価のための規程が整備され、それに基づいて自己点検・評価委員会が組織され、全学関係者で取組み、報告書が作成されている。自己点検・評価の結果は、諸規程や授業および管理運営、学生募集などの改善に反映させる努力をしている。

2. 三つの意見

(1) 特に優れた試みと評価できる事項

評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

- 建学の精神・教育理念を校歌や校章において表象しており、また、カレッジガイド、学科概要への掲載や学年始めのオリエンテーション、新規採用教職員の研修などあらゆる機会を通じて学内外への周知を図る努力をしている。

評価領域Ⅱ 教育の内容

- 専攻科食物栄養専攻の教育課程は、オムニバス方式の授業が多用されており、常に新しい授業内容の導入に努めている。各学科に学生と教員からなる「教育課程懇談会」を設置し、常に教育課程について自己点検している。

評価領域Ⅲ 教育の実施体制

- 経営情報学科の学生全員は、ノートパソコンを所持しており、無線 LAN 設備が十分に整備されていることから積極的な学生参加型の授業が展開されている。

評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

- 各学科ともに高い就職率であることは、教育の成果が表れていると判断できる。また、卒業生との接触の機会を確保することに努力している。

評価領域Ⅴ 学生支援

- 免許状や各種資格の取得のためのきめ細かな支援や、就職試験教養科目対策講座の開講などの支援が実施されており、就職率も高い。

評価領域Ⅷ 管理運営

- 平成12年度から規程に基づいて全教職員を対象とした業務評価の実施は、先行的な試みである。

評価領域Ⅸ 財務

- 毎年、各学科ともに収容定員を充足しており、短期大学の財務体質が健全である。

(2) 向上・充実のための課題

評価領域Ⅲ 教育の実施体制

- 経営情報学科の入学定員および収容定員超過の状況を改善し、適切な教育条件の保全に留意されたい。

評価領域Ⅵ 研究

- 数名の教員に対して研究成果を公表するなど研究活動促進の対策を検討することが望まれる。

評価領域Ⅸ 財務

- 防火・防災訓練が定期的に行われることが望まれる。

評価領域Ⅹ 改革・改善

- 自己点検・評価報告書の公表方法などについて、検討が望まれる。

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

なし

3. 領域別評価結果

| | 評価領域 | 評価結果 |
|-------|----------------------|------|
| 評価領域Ⅰ | 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標 | 合 |
| 評価領域Ⅱ | 教育の内容 | 合 |
| 評価領域Ⅲ | 教育の実施体制 | 合 |
| 評価領域Ⅳ | 教育目標の達成度と教育の効果 | 合 |
| 評価領域Ⅴ | 学生支援 | 合 |
| 評価領域Ⅵ | 研究 | 合 |
| 評価領域Ⅶ | 社会的活動 | 合 |
| 評価領域Ⅷ | 管理運営 | 合 |
| 評価領域Ⅸ | 財務 | 合 |
| 評価領域Ⅹ | 改革・改善 | 合 |

評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

建学の精神・教育理念は確立しており、多くの機会を通して学内外への周知を図る努力をしている。教育目的・教育目標は各学科ごとに具体的に設定されており、時代の進展や社会のニーズの変化に応じた見直しは、学科の新設や改組再編などに合わせて適切に行われている。また、学生・教職員が共通に理解し共有するための具体的な施策としては、カレッジガイド、学科概要への掲載や学年始めのオリエンテーション、新規採用教職員の研修会などでの周知の努力が行われている。

評価領域Ⅱ 教育の内容

各学科および専攻科の教育課程は、それぞれの教育目標に基づいて編成し授業が展開され、その評価も適切に行われ、教育課程の改善にも組織的に取り組んでいる。また、各種の免許状や資格の取得に配慮した授業科目でバランスを保ち、学生の選択の自由を保障し、意欲をもって履修できるようにしている。授業内容、教育方法および評価方法などは、シラバスによって事前に学生に理解しやすく示している。さらに、学生による授業評価や授業方法の改善のための研究・研修会、教員相互の授業聴講制度などを実施して、教員の授業方法の改善や教育内容の向上に努めている。

評価領域Ⅲ 教育の実施体制

教育の実施体制は、適切に整備され機能している。教員組織は、各学科ともに短期大学設置基準以上で構成されており、教育支援者としての助手や補助職員などの人材も配置されている。校地面積や校舎面積は、短期大学設置基準を充たし、授業用の機器・備品なども充たされている。また、図書館は、ハード・ソフト両面で整備され、

図書館活動が活発である。

学生の収容定員は、各学科ともに100%以上であるが、130%を超えている学科もあるので、この点については是正をすることが望まれる。

評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

単位の認定状況、学生の満足度、退学・休学・留年などの状況、免許状や各種資格の取得状況などから総合的に判断すると、各授業が効果的に実施され、教育目標達成のために十分な効果を上げている。また、卒業生のほとんどが、専門性をいかして県内の各界に就職して活躍しており、卒業生に対するケアは各学科の教員によって行われている。

評価領域Ⅴ 学生支援

入学に関する支援体制は、入試・広報センターとして組織化され整備されており、多様な選抜方法で適切な入学試験が実施されている。入学者に対するオリエンテーションは、年度当初に適切な内容と方法で実施している。在学生に対するオリエンテーションも充実しており、学力不足や進度の速い学生に対する配慮もしている。学生生活支援は、学級担任と職員とが一体となって就学指導・支援や生活指導・支援をしており、その体制が整備され実績を上げている。進路支援については、学生部就職指導課と学級担任が中心となって行い、就職だけでなく編入学も含めて成果をあげている。今後は、長期履修制度の導入についての検討が望まれる。

評価領域Ⅵ 研究

多くの教員は、研究成果を何らかの形で公表しているが、公表していない教員が数名いる。また、外部資金は、科学研究費補助金や地方自治体および財団法人などから獲得しており、一定の成果をあげている。教員の研究に係わる経費については、研究費取扱要項に基づき研究助成をし、その成果を発表する場として研究紀要を毎年発行している。また、研究のための研究室、機器・備品・図書などや研究日についても配慮されている。

評価領域Ⅶ 社会的活動

生涯学習センターを中心にして地方自治体などと連携しながら、全学、学科、教員個人などによって、各種講座やリカレント教育などの社会的活動を積極的に行っている。また、ボランティア活動は積極的であり、当該短期大学としても参加する学生のために各種保険などの加入の援助をし、教育課程にも位置づけて単位認定などをして積極的に評価している。国際交流は、アメリカ合衆国のコミュニティ・カレッジと姉妹提携をして交流している。

評価領域Ⅷ 管理運営

理事長が学長を兼務しており、寄附行為の規定に基づいて、理事と評議員および監事が選任され、理事会や評議員会などが適切に開催されている。また、監事は、寄附行為の規定に基づいて適切に業務を行っている。教授会などの短期大学の運営体制は確立され、各種規程に基づいて適切に運営されており、事務組織についても、諸規程が整備され、それに基づいて適切に管理・運営されている。なお、スタッフ・ディベロップメント（SD）活動に関しては組織的な活動にはなっていない。人事管理については、各種規程が整備されており、その運営管理も適切に行われている。また、教職員は、緊密な連携が保たれて学生指導や管理運営にあたっている。さらに、教職員の就業などに関する管理も、適切に運用されている。

評価領域Ⅸ 財務

中・長期の財務計画は策定していないが、毎年度の事業計画とそれに応じた財務運営は、その管理や手続きを含めて、ほぼ適切に行われている。また、必要な施設設備は、セキュリティ対策や省エネ・省資源対策を含めて、諸規程に基づいて適切に維持管理されている。

評価領域Ⅹ 改革・改善

自己点検・評価のための規程が整備され、それに基づいて自己点検・評価委員会が組織され、全学関係者で取組み、報告書が作成されている。しかし、学外への配布先については、もう少し広げる検討が望まれる。自己点検・評価の結果は、諸規程や授業および管理運営、学生募集などの改善に反映させる努力をしている。相互評価や外部評価についての規程は整備されているので、できるだけ早い時期の実施についての検討が望まれる。